

1. 件名：運転責任者判定試験における新型コロナウイルスの影響等について
2. 日時：令和2年4月22日 13時30分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁、中部電力株式会社本店ほか
(テレビ会議システムにより実施)

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ

実用炉監視部門 吉野企画調査官、吉田管理官補佐、東原子力規制専門員
専門検査部門 小坂企画調査官

東京電力ホールディングス株式会社 運転育成グループマネジャー

中部電力株式会社 原子力部 運営グループ スタッフ課長 ほかに1名

関西電力株式会社 原子力発電部門 発電グループ マネジャー ほかに2名
一般社団法人原子力安全推進協会 (以下「JANSI」という。)

運転管理グループリーダー

5. 要旨

(1) 電力会社から判定試験を受託しているJANSIより、運転責任者判定試験における新型コロナウイルスの影響及び対策について、提出資料に基づき説明があった。JANSIからの主な説明は以下のとおり。

- 令和2年5月の運転責任者判定試験の実施方法について、新型コロナウイルスの感染防止対策を踏まえて、実施場所の変更、WEB会議の活用、実施時期の1ヶ月以内の変更について検討してきた。
- しかし、令和2年4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、受験生、試験委員等の移動が困難となったことから、上述の対策で運転責任者判定試験を実施することが難しく、同年5月の当該試験を中止することを検討している。
- このため、同年5月の受講予定者のうち更新予定者は、有効期間までに更新ができずに資格が失効することから、特例として次回の更新判定を受けるまでの有効期間の延長、又新規受験者は、実技試験の有効期間の延長が認められるかの相談があった。
- 本年度は、5月のほか、残り3回の試験があり、非常事態宣言の解除時期によっては、これらも影響するとの説明があった。

(2) 原子力規制庁より、運転責任者判定試験について、WEB会議の活用を含め実施の可否を精査、検討した上で改めて説明するよう伝え、JANSIは了解した旨回答があった。

6. 提出資料

資料1：運転責任者判定試験における新型コロナの影響及び対策について